



すいたみなみしょうがっこう

吹田南小学校だより

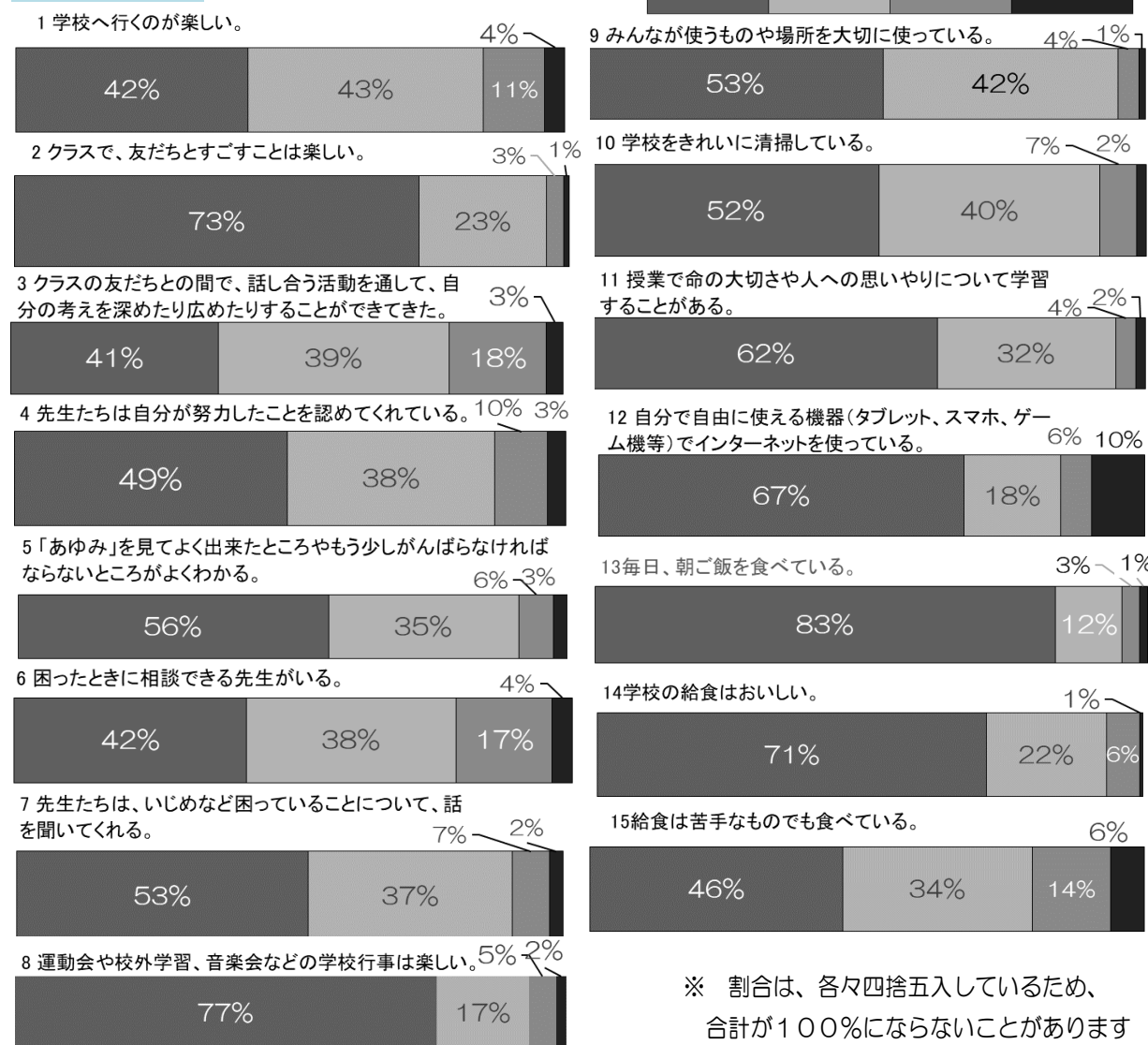
令和8年
(2026年)
学校アンケート号

学校教育目標 「つたえよう わたしの思い うけとめよう あなたの思い」

令和7年度学校アンケートのご回答ありがとうございました

過日実施いたしました「学校アンケート」に対しまして、多くのご回答をいただき、誠にありがとうございました。今号では、いただいた回答の集計結果についてグラフで報告させていただくとともに、自由記述でいただいたご意見に、お答えさせていただきます。

【児童集計】：全学年児童の回答を集計。



※ 割合は、各々四捨五入しているため、合計が100%にならないことがあります

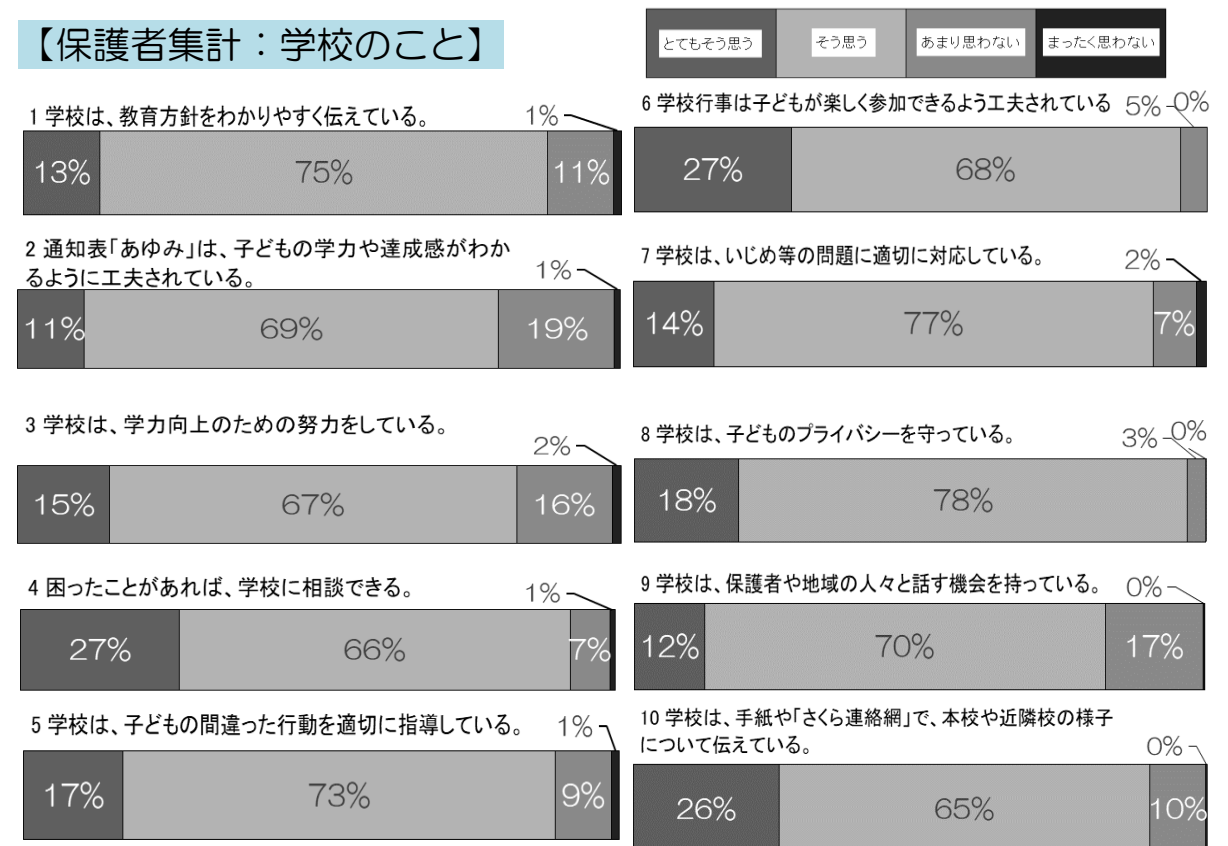
「1.学校へ行くのが楽しい」の設問で、肯定的な回答をした児童は85%でした。肯定的な回答ができなかった原因が、学習のことなのか友人関係なのかを探っていかなければなりません。また「6.困ったときに相談できる先生がいる」の項目も肯定的回答は80%でした。全ての教職員がカウンセリングマインドを身につけること、担任以外にも様々な先生に相談できることや、デイケンの活用で担任へ気軽に相談できることを、児童に理解してもらうことが必要です。

「とてもそう思う」「そう思う」の2つを合わせた肯定的回答は、1~11のどの項目でも80%を超えました。中でも「2.クラスで、友だちとすごすことは楽しい」や「8.運動会(遠足)などの学校行事は楽しい」は特に肯定的であり、アフターコロナとなり関わりを大切にされた学校教育活動や、たくさんの保護者に見に来てもらえる学校行事が楽しいことがよくわかります。

自分で自由に使えるスマホや携帯電話の所持率は昨年より3ポイント増加し85%でした。それぞれのご家庭の事情によって、持たせる持たせないの対応は違うと思いますが、持たせる場合は、保護者了承のもとでの使用ですので、使用に関して生じるあらゆるトラブルの責任は、ご家庭が負うことになります。本来12歳以上でしか使えないLINE等のSNSトラブルが毎年生起しています。使い方についてのご家庭でのルールを決め、使い方を把握しておくことも必要です。

今年度の児童アンケートでは、食に関わる3問を追加しました。午前中における学校教育活動のエネルギー源となる朝食の喫食率が高いことがわかりホッとしております。また、給食は美味しく食べているようで、苦手なものでもチャレンジしていることがわかりました。

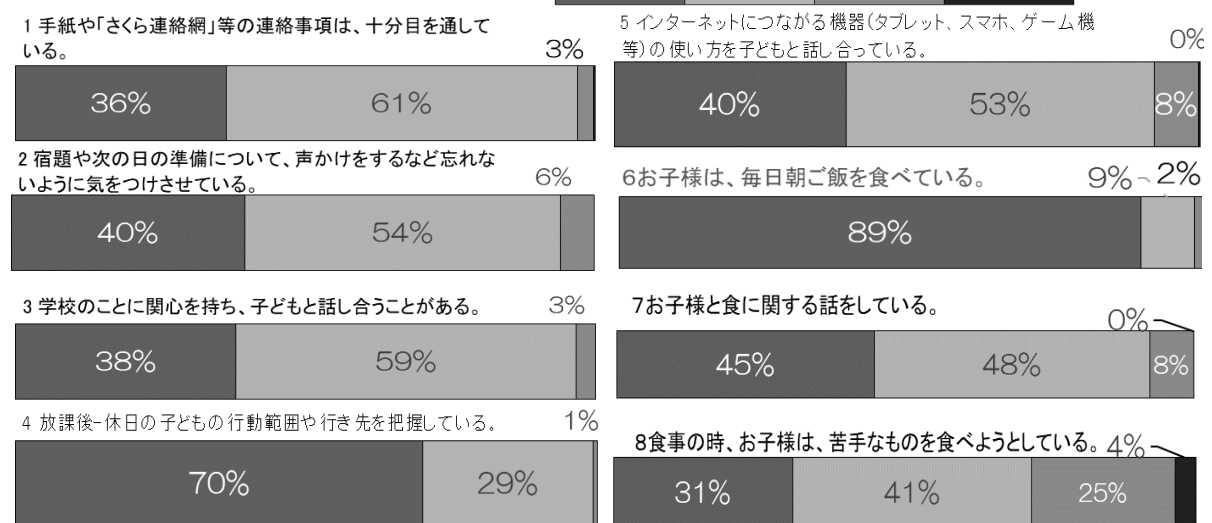
【保護者集計：学校のこと】



児童集計結果と同様に、**全ての項目で肯定的回答が80%を超えました。多くの方々が、学校教育活動を理解、協力していただいているおかげであると感謝しております。**

否定的回答の割合が一番多い「2.通知表は、子どもの学力や達成感がわかるように工夫されている」も、否定的回答が2ポイント減少しましたが、更に、適切な対応を心がけていきたいと思えます。また、「9.学校は、保護者や地域の人々と話す機会を持っている」については、否定的回答が3ポイント減少し、「10.学校は、本校や近隣校の様子について伝えている」も否定的回答が8ポイント減少しました。学校行事や地域行事が実施できたことや、年間を通じて参観いただけた結果と思われる。また、200以上更新した**学校ブログ★**も効果があったでしょうか。

【保護者集計：家庭のこと】



ご家庭でのご対応が、概ね適切になされていることがうかがえました。「5.インターネットにつながる機器の使い方を子どもと話し合っている」の肯定的回答は、昨年度と同じ93%でしたが「とてもそう思う」が7ポイント増加しました。**一人一台端末が5年を経過し、多くのご家庭で、タブレットも含めた使い方やルールについて話し合い、ルールが定着してきた結果と思われる。**

保護者アンケートでも、食に関わる3問を追加しました。朝食の喫食率が高く、ご家庭でも食に関する会話があることは、とても貴重なことです。また、給食の時ほどではないですが、ご家庭でも苦手なものにチャレンジしていることがわかりました。

【「ご意見」について】

自由記述でお書きいただいたご意見やご質問は、同じ内容について多くの方からいただいたご意見やご質問を中心にお答えさせていただきます。なお、全てのご意見にお答えすることは不可能ですので、お聞きになりたいことなどあればご連絡ください。

Q：子どもたちの相談体制について

A：子どもたちが「相談したい」時に、毎朝の健康観察「**こころとからだの連絡帳デイケン**」の相談機能を使えば、先生に「相談したい」「悩みがある」ということを伝えられます。もちろん、直接、担任や保健、生徒指導の先生に相談することも可能ですが、デイケン

でフラグを立てると、先生から声をかけてもらえるので、ハードルは低くなっています。また、年3回行っている「心と身体の元気調べ」では、項目のチェックや記述で悩みを伝えることもできますし、**令和7年度からは、記述等がない子も含めて全員と面談しております。**なお、いじめ対応の詳細は、**学校だより7月号★**をご覧ください。

Q：一人一台端末について

A：タブレット持ち帰りの重さ負担軽減のため、教科書等の一部を学校に置いています。**持ち帰ったタブレットは、宿題や家庭学習に活用してください。タブレット使用に慣れるとともに、大切な学習ツールを自身で管理することも習慣づけてください。**なお、市立小中学校では、「**デジタル・シティズンシップ教育★**（情報技術の利用における適切で責任ある行動規範に必要な能力を身に付ける教育）」を、全学年で行っています。また、多くのご家庭で、タブレットも含めた使い方やルールについて話し合っていたり、ご家庭でもルールが定着してきているようですので、引き続きよろしく願いいたします。

Q：運動会について

A：アフターコロナとなり、国や府から「**単にコロナ前の形に戻すのではなく、これを機会に子どもたちにとって有意義な学校行事を創造するように**」と通知があり、**府内小学校の9割以上が運動会を半日開催にしております。**本校は、児童数が多いため2部制をとっていますが、それでも「観覧しにくい」という声があります。譲り合っていただけるとありがたいです。なお、他の学年の演技を観て、他の学年の頑張りや、上の学年への憧れや下の学年の振り返りなど、学ぶことや感じることもあるので、例年「**団体演技相互参観★**」を別日に設定し、仕上がった演技を相互参観することにしております。

Q：校内音楽会について

A：校内音楽会についても、上記の通知「**～子どもたちにとって有意義な学校行事を創造するように**」を受け、**市内の多くの小学校と同様に、子どもたちが演奏に集中できることを第一に考え、撮影を禁止にしております。**また、「運動会は撮影可能なのに…」という声もありますが、それは、「多くのスポーツ観戦は撮影可能ですが、多くのコンサートや演奏会は撮影禁止となっていること」と同様と考え、ご理解いただけたらと思います。令和8年度の校内音楽会は11月27日（金）です。ぜひ、ご予定ください。

Q：教師の加配について

A：「担任だけでは大変なので、学年にもう一人いてくれたら」「複数担任制度があればいいのに」等のお声をいただいておりますが、**全国どこの公立小学校でも、学級数に応じて定数が決まっております。公立中学校のような副担任を設定することは不可能です。**限られた人数ですが、全ての教職員で全ての子どもたちを育てたいと考えております。新たな人員の加配については、市や府の校長会から府に要望をしております。

令和6年度アンケートの回答

ご意見やご質問の中には、**以下の項目等、令和6年度に回答しているものもございました。**「学校行事の開催」「さくら連絡網」「教職員の研究」「こころと身体の連絡帳デイケン」**令和6年度学校だより2月学校アンケート号★**をご覧ください。

※ご意見についての回答で、★印の部分はリンクを張っていますので、クリックしてください。